

質問に対する回答書⑥

東京外環自動車道 ハ潮パーキングエリア工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	公告資料、技術関係の別紙-1 工事工程表(概略工程表)	工事工程表では、令和7年4月の第1期迂回路供用を開始してから、この工事の着手になると思いますが、令和7年3月までは、何の工事を行うのでしょうか。ご教示ください。	久喜白岡JCT土取場における土砂の掘削、積込み、及びハ潮土取場への運搬、敷均し、仮設調整池の施工、材料手配等を想定しております。
2	公告資料、技術関係の別紙-1 工事工程表(概略工程表)及び特記仕様書 4-2	特記仕様書 4-2 配置技術者の工事経験では、a)土工工事、b)コンクリート橋台又は橋脚の工事、と記載があります。工事工程表から、a)土工工事の開始は令和7年4月、b)コンクリート橋台又は橋脚の工事の開始は、からになっていますが、この開始時期以前から、監理技術者を配置する必要があるでしょうか。ご教示ください。	余裕期間を除く工期内は、現場代理人、主任技術者または監理技術者のうち、いずれかの者が、a)土工工事及びb)コンクリート橋台又は橋脚の工事の経験を有する技術者である必要があります。
3	公告資料、技術関係の別紙-1 工事工程表(概略工程表)及び特記仕様書 4-2	特記仕様書 4-2 配置技術者の工事経験では、a)土工工事、b)コンクリート橋台又は橋脚の工事、と記載があります。工事工程表から、a)土工工事の開始は令和7年4月、b)コンクリート橋台又は橋脚の工事の開始は、令和8年4月からになっていますが、a)土工工事の監理技術者は準備工のために土工事開始時期以前から、監理技術者を配置する必要があるかもしれません、b) コンクリート橋台又は橋脚の工事は、当該工事が開始となる令和8年4月以降の監理技術者配置としてもよろしいでしょうか。ご教示ください。	余裕期間を除く工期内は、現場代理人、主任技術者または監理技術者のうち、いずれかの者が、a)土工工事及びb)コンクリート橋台又は橋脚の工事の経験を有する技術者である必要があります。
4	図面 下部工設計図(29/138) PC-1 橋脚 仮締切工図(その2)	構造物掘削の材料表において、『改良土(陸上) 30.9m3』と記述されています。この『改良土』とは、碎石置換ですか、それともバックホウ混合の浅層改良のようなものですか？ご教授ください。	材料表中の構造物掘削 特殊部における改良土については、浅層混合により改良されたものです。
5	図面 下部工設計図(29/138) PC-1 橋脚 仮締切工図(その2)	構造物掘削の材料表において、『改良土(陸上) 30.9m3』と記述されています。この『改良土』の土質区分について、ご提示をお願いします。	下部工設計図(29/138)に記載の構造物掘削 特殊部における改良土の土質区分については、土砂Ⅲを想定しております。
6	図面 下部工設計図(29/138) PC-1 橋脚 仮締切工図(その2)	構造物掘削の材料表において、『残土処分 土砂Ⅰ(水中) 235.5m3, 土砂Ⅱ(水中) 244.9m3』と記述されています。 上記の数量より、掘削残土の合計は、 $235.5 + 244.9 = 480.4\text{m}^3$ となります。 ところが、コンサル資料(八潮入谷地区橋梁修正設計検討業務)では、掘削残土は、 493.7m^3 と記述されており、図面の数量と異なっていますので確認のほどよろしくお願いいたします。	数量計算書は参考資料であり、残土処分を行う掘削残土は設計図書に示すとおり 480.4m^3 です。
7	特記仕様書 26-8 構造物掘削 特殊部B	特記仕様書P32 26-8 構造物掘削 特殊部B(PA-A,A1 PA-B,A1)において、『構造物掘削の施工基面からの掘削、仮置き(陸上掘削)』と記述されています。 ところが、コンサルの数量計算書では、陸上掘削で発生した土量 620.2m^3 のうち、 129.4m^3 は残土すると記述されています。 陸上掘削における残土土量の運搬先を、御提示ください。 また、図面 材料表 構造物掘削に、構造物掘削(陸上)の残土数量を提示してください。 よろしくお願いいたします。	構造物掘削 特殊部Bの陸上掘削における残土土量 129.4m^3 については、施工箇所周辺に仮置きするものとお考えください。 また、残土数量の図面への提示はいたしません。